

第4節 勉強の方法

1. 勉強の仕方

【高校生の半数以上が「よくする」「時々する」と答えているのが、①辞書（英語・国語など）を引く（76%）、②問題集の問題を解く（68%）、③教科書などにアンダーラインをひいたり、カラーマーカーを塗る（62%）。】
（図1-9）

Q3

家での勉強についてうかがいます。
（学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます）

D. 家では、どんな勉強の仕方をする
ことが多いですか。次の①から⑥のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

高校生の学習をめぐる最大の悩みのひとつは、上手な勉強の仕方がわからないことである（第2章第6節P.55参照）。そこで、今回の調査では、家でどんな勉強の仕方をする
ことが多いのかを尋ねてみた。

高校生の半数以上が「よくする」「時々する」と答えているのが、①辞書（英語・国語など）を引く（76%）、②問題集の問題を解く（68%）、③教科書などにアンダーラインをひいたり、カラーマーカーを塗る（62%）、の3つである。参考書を読む（46%）よりも問題集を解くこと、単に教科書を繰り返し読む（48

%）よりもアンダーラインをつけたりカラーマーカーを塗りながら読むという勉強方法のほうが一般的である。

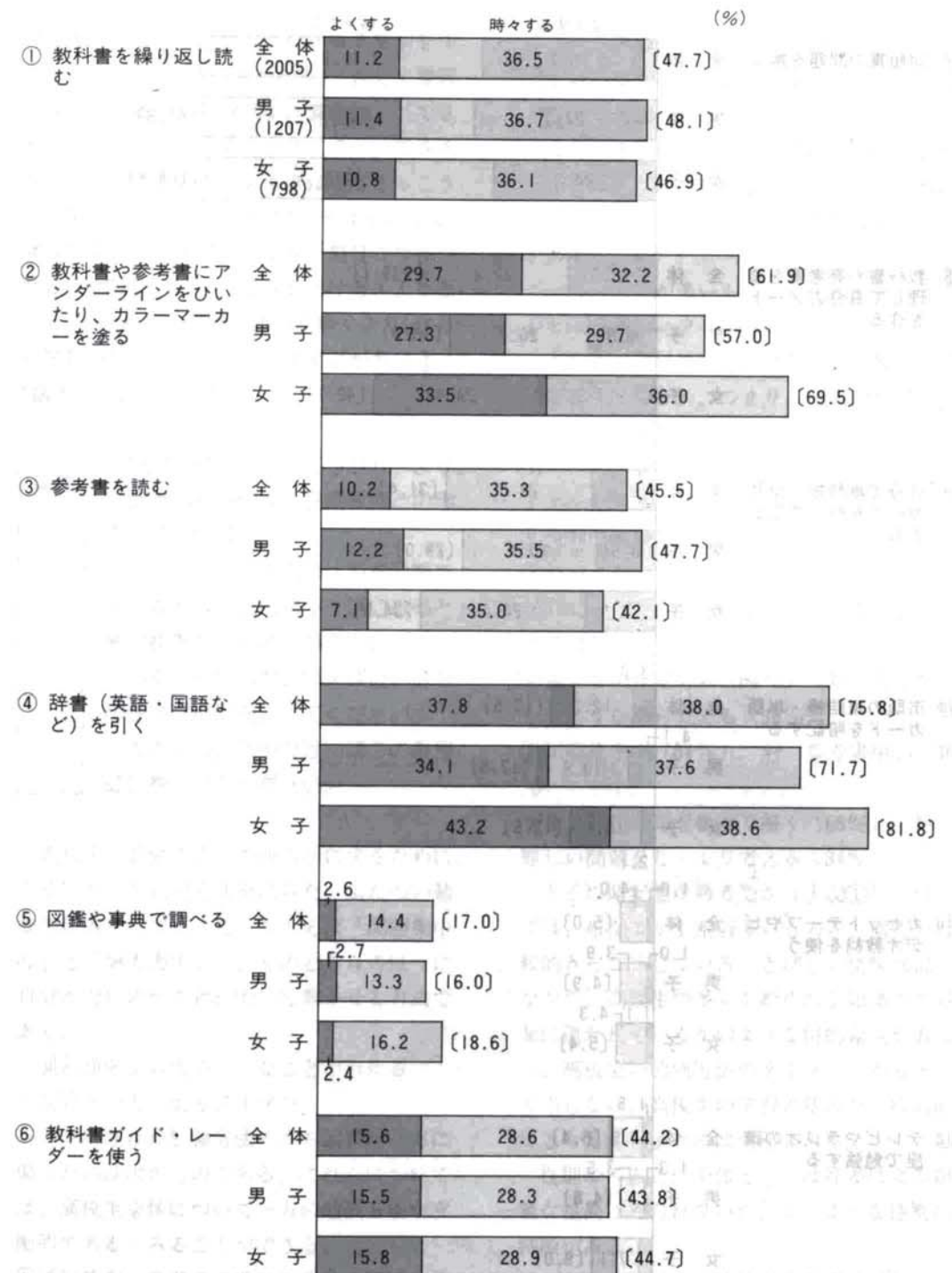
「テレビやラジオの講座で勉強する」（6%）、「カセットテープやビデオ教材を使う」（5%）のはいずれもごく少数派である。現在、書籍以外のさまざまなメディアを用いた学習教材が出されているが、それらはいまだ高校生の学習に大きく浸透しているとはいえない状況にある。

性別にみると、男子と比較して、女子に多くみられるのが「アンダーラインやカラーマーカー」「教科書などを整理して自分のノートを作る」「辞書を引く」などである。一方、男子に多くみられたのが「参考書を読む」「市販の単語帳で暗記する」などであり、概して勉強に手間暇をかけない傾向がみられる。

成績の自己評価別にみると、概して成績上位者ほど「よくする」「時々する」傾向があるが、「教科書ガイド・レーダー」については逆に成績下位者ほど利用者が多い。

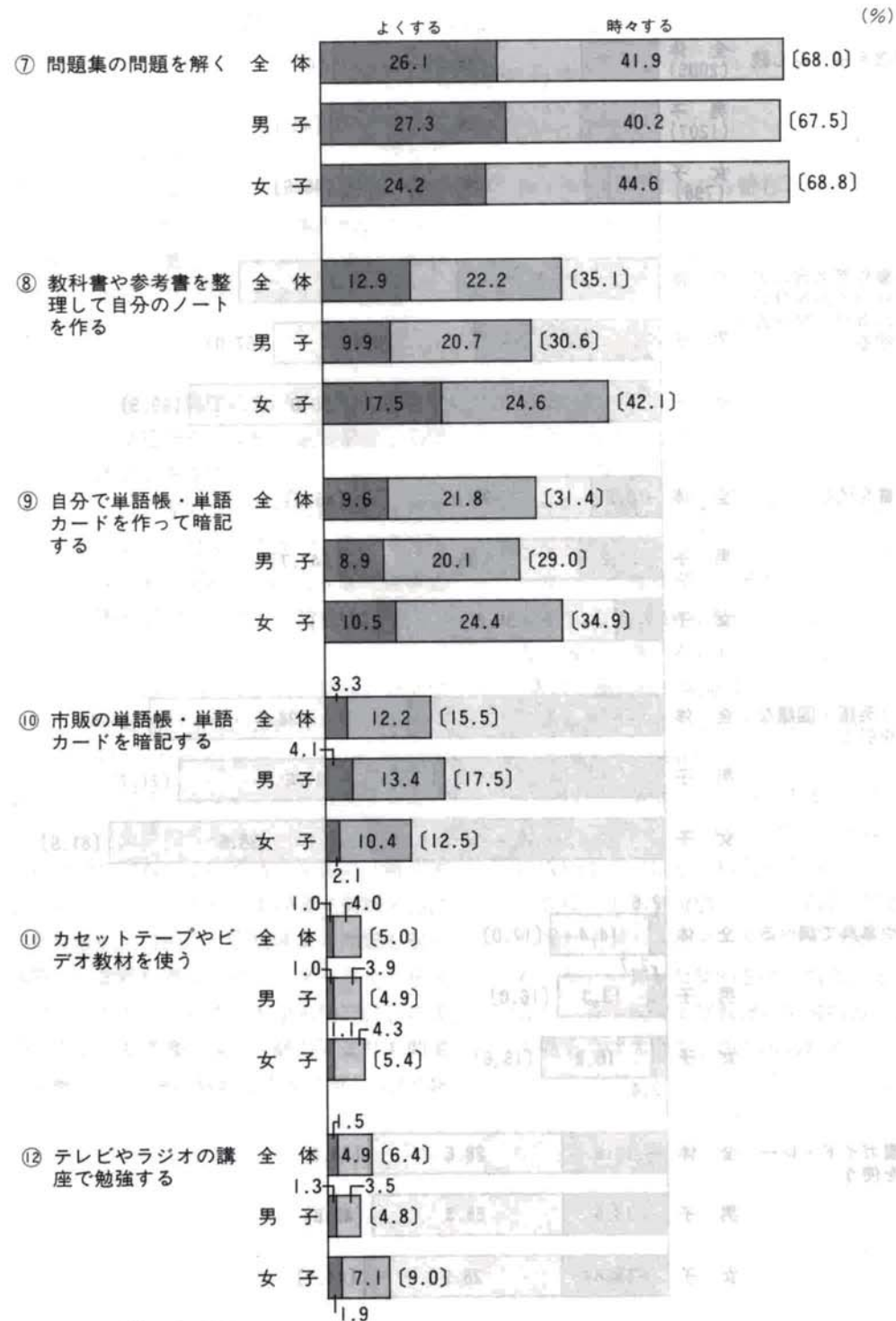
高校の進学状況別では、「辞書を引く」「教科書ガイド・レーダーを使う」で大差がみられたが、一貫した傾向を読み取ることはできない。各学校および教師の学習指導に大きな影響を受けているものと思われる。

図1-9 勉強の方法



*次ページへつづく

2. 勉強方法のタイプ



注1) ()内の数値は「よくする」と「時々する」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

【全体として、「学校で配付される教材を中心に」、「試験の前にまとめて」「自分で整理しながら勉強する」方法が、支配的。「できるだけ暗記しようとする」タイプと「できるだけ考えようとする」タイプはほぼきっこう。進学校ほど復習中心よりも「予習中心」、試験前にまとめて勉強するより「毎日こつこつ勉強」、暗記するより「できるだけ考えようとする」、やさしい問題を数多く解くより「難しい問題をじっくり考える」タイプが多い。】
(図1-10、図1-11)

Q3

家での勉強についてうかがいます。
(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)
E. あなたの勉強の仕方を分類するとすれば、どんなタイプになると思いますか。①から⑩のそれぞれについて、どちらかといえば近いほうのタイプに○をつけてください。
(1か2のどちらか近いほうの番号に○をつけてください)

高校生の勉強の仕方を明らかにするために、やや変わった設問方法を試みた。ふたつの勉強の仕方をペアにして(たとえば「問題集中心」と「参考書中心」)、そのどちらのほうに自分が近いのかを強制的に分類させる方法である。
回答傾向から次のようなことがわかる。
〈回答が一方に偏るタイプ〉

ペアにされた勉強方法のうち回答が一方に偏ったのは次のものである。これらについては、高校生全体について一方の勉強方法が支配的であるとみる事ができる。
①通信教育、学習塾の教材や自分で買った教材中心(9%)よりも学校で配付される教材中心(91%)
②毎日こつこつ勉強する(15%)よりも試験

の前にまとめて(85%)

③市販の要点整理(19%)よりも自分で整理しながら勉強(81%)

これらを要するに、学校で配付される教材を中心に、試験の前にまとめて、自分で整理しながら勉強する方法が、支配的であることがわかる。

〈一方の回答が多いものの、圧倒的多数であるとはいえないタイプ〉

上記3ペア以外は、回答が一方に集中しているわけではない。つまり、個人差が相対的にみられる学習方法である。

①できるだけ暗記(54%) 対 できるだけ考えようとする(46%)

②復習中心(60%) 対 予習中心(40%)

③わからないところは、先生や友だちに聞く(63%) 対 わからないところは自分で考える(37%)

④書きながら覚える(64%) 対 読んだりしゃべりながら覚える(36%)

⑤問題集中心(64%) 対 参考書中心(36%)

⑥やさしい問題を数多く解く(66%) 対 難しい問題をじっくり考える(34%)

とくに暗記型か熟考型か(上記①)については、暗記型が1割弱多いものの、回答が比較的きっこうしている。きびしい受験状況のなかで、高校生の多くが断片的な知識の丸暗記に追われているかのような俗的意見があるが、高校生の勉強方法のタイプから見ると、妥当しない。高校生の学習の状況を一枚岩的にとらえてしまうのは危険である。

性別にみると、全体としては性差による顕著な差異はみられないが、次のような性別の特徴がある。

〈わからない場合の勉強方法のタイプ〉

全体としては「聞くタイプ」が多いが

男子：自分で考える

女子：先生や友だちに聞く

<予習・復習のタイプ>

全体としては「復習中心」であるが

男子：復習

女子：予習

成績の自己評価別には、成績上位者ほど試験前にまとめて勉強するより「毎日こつこつ勉強」、やさしい問題を数多く解くより「難しい問題をじっくり考える」タイプが多くなっている。

い問題をじっくり考える」タイプが多い。

高校の進学状況別にみると、進学校ほど復習中心よりも「予習中心」、試験前にまとめて勉強するより「毎日こつこつ勉強」、できるだけ暗記するより「できるだけ考えようとする」、やさしい問題を数多く解くより「難しい問題をじっくり考える」タイプが多くなっている。

図1-10 勉強方法のタイプ(二者択一式)

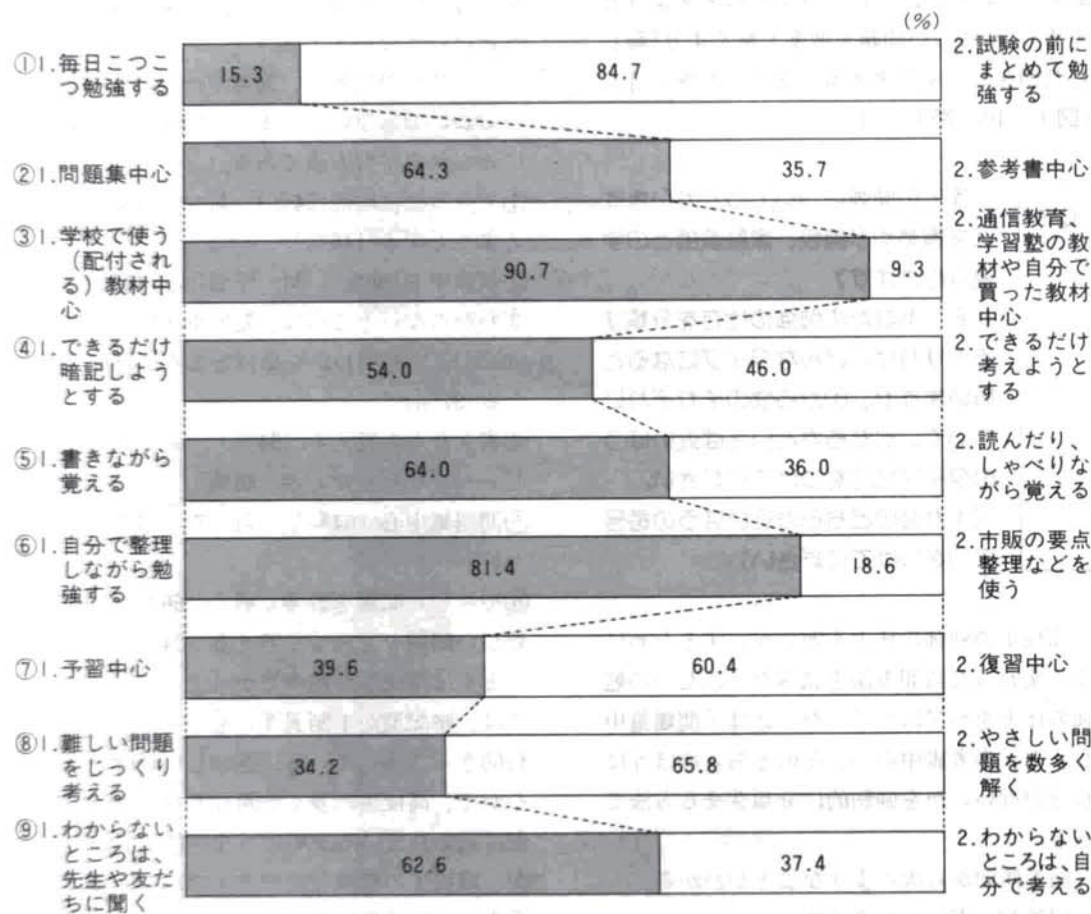
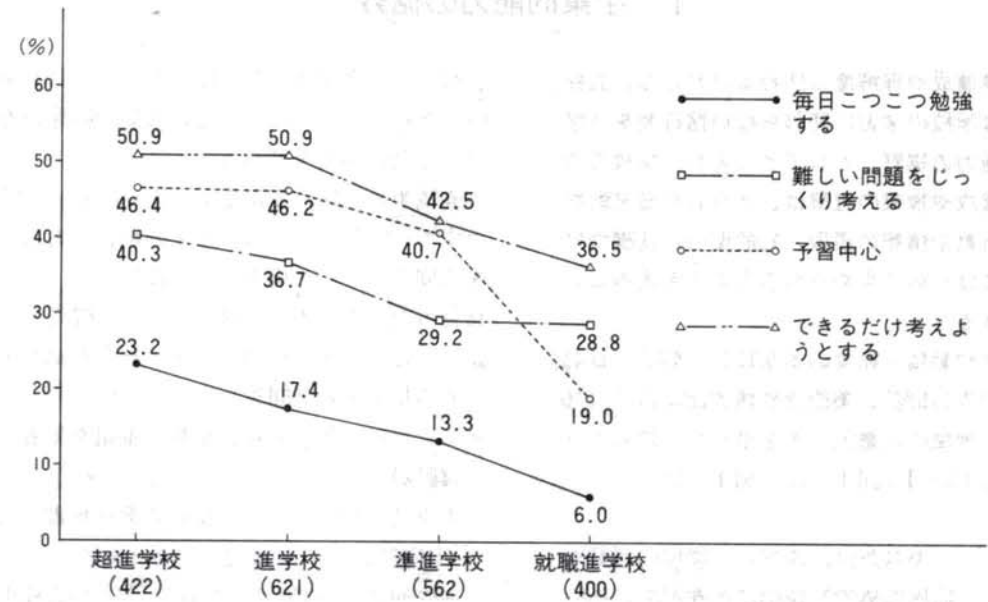


図1-11 勉強方法のタイプ



注) ()内はサンプル数。

